



2021.7.1 (木) 国際ロータリー第2520地区 仙台泉RC 第2407回例会

仙台泉ロータリークラブ 三浦 一 会長
 テーマ「創立50年を迎えて もっと奉仕をしてさらに成長しよう」
 50th Anniversary! Serve more, grow further

S A A 野村佳生会員

【会務報告】 菊地幸二幹事

国際ロータリー日本事務局様より 在宅勤務を延長のお知らせ拝受（2021年7月30日（金）まで）
 第2520地区ガバナー事務所様より ガバナー事務所開設のお知らせ拝受
 地区資金（前期）送金のお祝い拝受 （前期 12500円×会員数）
 第2520地区 直前ガバナー事務所様より 新クラブ設立のお知らせ拝受
 （仙台奥羽RC 毎週火曜例会 2520地区第7分区広瀬ゾーン）
 仙台宮城野ロータリークラブ様より 例会変更のお知らせ
 会報拝受： 仙台東RC ・ 仙台西RC様より

【奨学金授与】 米山記念奨学生 周 擇誉さんへ7月分奨学金を授与



先月学会で発表をさせていただき、学生奨励賞とし、3000円の賞金をいただきました。米山奨学金以外今年度初の収入です。奨学金も含めて大事に使いたいと思います。



【乾杯の挨拶】 鎌田一夫会員

会長就任挨拶 第50代会長 三浦 一



1972年6月20日、全国1124番目のクラブとして設立以来、諸先輩方のご努力と関係各位のご協力をいただき、我が仙台泉ロータリークラブは、今年度創立50年を迎えることが出来ました。このような大きな節目の年に、入会8年目の浅識非才の私が会長を務めることに、会員の皆様は一抹の不安を抱かれていることと存じます。

しかしながらこの一年、粉骨砕身の思いでクラブのため奉仕をする所存です。何卒宜しくお願い致します。今年度のクラブテーマとて、「創立50年を迎えて。もっと奉仕をしてさらに成長しよう」と致しました。「Pay Forward」という言葉があります。日本語的に訳しますと「恩送り」といった意味になるでしょうか。つまり見返りを求めず、他者のために奉仕をする。その奉仕を受けた人は、さらに誰かに奉仕をする。奉仕の連鎖のようなことです。そんな思いやりのある世の中の起点に我々ロータリアンがなれることを願い、そしてそのような活動を通して、会員一人ひとりが成長するクラブでありたいとの思いを、このテーマに込めました。

さて、2019年12月に始まりました新型コロナウイルス感染拡大により、世の中の状況は一変しました。わずか2年足らずの間に、それまで当たり前のことが当たり前ではなくなる世の中になるとは、誰が想像したことでしょうか。しかしながらこれだけ世の中が大きく変化したことを全てネガティブに捉えるのではなく、見方を換えれば大きく進化する機会であると言えるのではないかと考えます。まだ暫くの間、この混乱は続くと思いますが、このような時こそ、私たちロータリアンは、変化を進化（深化）する成長の機会として、各々が「奉仕の理想」を持ち、率先して周りを明るく照らす存在でありたいと思います。

私が今年度、皆様と共に取り組んでいきたいことを述べさせていただきます。それは、継続事業のほか以下のことを重点項目として取り組みたいと考えています。はじめに会員増強です。今年度RIシエカール・メータ会長は、現在の会員数を120万人から130万人に増強する目標を掲げています。「each one bring one」つまり各々ロータリアンが、会員一人を入会させようということです。そこで、今年度は、現在の会員数50名から60名に増強することを目標とします。私たち会員皆がこの「each one bring one」の気持ちでトライすれば決して達成できない目標ではない、と信じます。

二つ目は、「公共イメージの向上」です。ロータリーの素晴らしさ、ロータリアンの魅力を多くの人に伝えていきたいと考えています。会員一人ひとりが情報の発信者となれるよう、SNSの活用等も含め新たな試みに挑戦したいと考えております。

三つ目はロータリー財団に対しての「寄付」についてです。それは、今までより少しでも多くの寄付を、と考えております。昨年度RLIの研修に参加した際にロータリー財団の活動を学ぶ機会がありました。そこでは、100年以上も前に「世界でよいことをする」ために作られた基金が、その後、世界中の人道支援のために役に立ってきたという事を改めて学んだのです。私のように会員歴が短い会員の中には、ロータリー財団の活動について、深く知る機会が無かった方がいるのかも知れません。まずはロータリー財団の活動を理解する機会を作り、各会員が今まで以上に財団の活動に関心を持ち、世界各地の奉仕活動のため積極的に寄付を行えるような取り組みをしたいと思っております。

【仙台泉RC50周年について】

昨年度より「これまでの感謝、未来への希望」を基本コンセプトとし、50周年準備委員会を開催し、内容を検討して参りました。このコンセプトに基づき、記念事業、記念講演会、記念式典、そして記念誌の発行を考えております。「これまでの感謝」については、記念式典・懇親会に於いて「感謝」をカタチにしたいと思っております。「未来への希望」として「人を残す」ということを基本としたいと思っております。「人を残す」とは、未来を担う青少年に対して、地域や社会に「奉仕」する「人財」を育成するきっかけと機会を創造したいと思っております。それぞれの内容につきましては改めてお伝えしたいと思っておりますが、50年の歴史を紡いで、そして未来に繋げる50周年になるよう実行委員会を中心に会員一丸となって取り組みたいと思っております。

最後に、私は、2014年4月に仙台泉ロータリークラブに入会し、7年余りの月日が経ちました。いま心から思うことは、このクラブに入会して本当に良かったと思えることです。面倒見の良い善き諸先輩方に出会い、個性溢れる素晴らしい仲間たちに恵まれて本当に充実したロータリーライフを送ることが出来ていると実感しています。だからこそ、私はこのクラブのために「もっと行動」し、「もっと成長」出来るようしっかりと職責を全うし、この仙台泉ロータリークラブのお役に立ちたいと思っております。どうかこの一年間、会員皆様のご指導ご鞭撻、そしてお力添えをお願いして会長所信とさせていただきます。

幹事就任挨拶 菊地 幸二



この度、仙台泉ロータリークラブ2021-2022年度、三浦一会長のもと幹事を仰せつかりました。今年度は1972年6月に創立してから50周年という大きな節目であり、まだ入会5年目の知識も経験も浅い私には身に余る重責と不安で一杯でございます。会員皆様のお力添えを賜りながら、「明るく・楽しく・元気よく」をモットーとして一年間職務に邁進してまいります。このような勉強の場を与えて頂き大変感謝いたしております。

さて、三浦会長が掲げます「創立50年を迎えて、もっと奉仕をしてさらに成長しよう」のクラブテーマを具現化する為に継続している奉仕活動に加え、3つの活動重点項目を達成できるように尽力してまいります。又、今年度の活動のもう一つの柱として50周年記念事業がございます。

「これまでの感謝、未来への希望」をコンセプトとして、50周年事業委員会、実行委員会を中心として、各事業の成功に向け幹事として精進してまいります。

本日7月1日が最初の例会日であり、来年6月30日が最終例会日でございます。まさしく例会を活動の基本として様々な奉仕活動、そして50周年記念事業を通じ、全てにおいてロータリーライフを満喫して頂けるように会員相互の融和と親睦を図りながら、事業がより効率的に機能するように努めてまいります。

更に、合同幹事会等を通じて対外的様々な情報を会員皆様に周知しながら、より良いロータリー活動ができるクラブづくりにも取り組んでまいります。しかしながら、コロナ禍の世情を見ましても順風満帆に一年を過ごせないかもしれません。その際には、この2年間で培いましたリモート例会等の経験を生かして、柔軟に対応してまいります。そして、この経験をもとに新しい例会の運営にも視野を広げていきたいと思っております。結びになりますが、各委員会の連携や調整など皆様の潤滑油となり、一年間を通じてクラブ運営が円滑に活動できるよう努力してまいります。つきましては、会員皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

ニコニコボックス

- 菅原裕典会員 三浦会長 菊地幹事の船出 一年間の活躍を祈念して。
- 小池康浩会員 三浦会長 菊地幹事一年間宜しくお願い致します。50周年成功させましょう！
- 照井健悦会員 三浦会長 菊地幹事一年間宜しくお願い致します。本日はおめでとうでございます。
- 堀越康寛会員 新年度宜しく申し上げます。 佐藤 昇会員 頑張ってください。
- 長山英樹会員 本日はニコニコに沢山のご協力、誠に有難うございました
- 以下同意文にて 大垣・金子・鎌田（一）・鎌田（善）・萱場・菊地・木村・斎藤（文）・斎藤（正）・佐藤浩・沢崎・高橋
高松・時・永井・中嶋・中村・野村・藤岡・前田・松田・三浦（宏）・三浦一・嶺岸・本木・横田・
鷲尾（広）・鷲尾（光） 各会員 今回70,000円

米山記念奨学会特別寄付積立

萱場・菊地・小池・斎藤（正）・佐藤昇・高橋渉・時・中村・野村・三浦一・本木・鷲尾（広） 各会員 今回14,000円



周 擇嘗さん



鷲尾光男会員

東京五輪聖火リレーのトーチ、ユニフォームと記念撮影

東京オリンピックで聖火ランナーを務めた菅原裕典ロータリーコーディネーターにトーチとユニフォームを例会場にお持ちいただき、江陽グランドホテルのスタッフの方や、例会参加者で写真撮影。